

学校法人大阪青山学園
大阪青山大学短期大学部
機関別評価結果

令和2年3月17日

一般財団法人短期大学基準協会

大阪青山大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 大阪青山学園
理事長	塩川 和子
学 長	久田 敏彦
A L O	大澤 茂男
開設年月日	昭和 42 年 4 月 1 日
所在地	大阪府箕面市新稲 2 丁目 11-1

<令和元年 5 月 1 日現在>

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
調理製菓学科		60
	合計	60

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

評価結果

大阪青山大学短期大学部は、平成 28 年度の評価において、「基準Ⅲ教育資源と財的資源」の一部に問題が認められたため、その改善を条件として付した上で適格と認定した。今回、この問題が改善され、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

1. 評価結果の事由

平成 28 年度の本協会の第三者評価において、当該短期大学は本協会が定める短期大学評価基準をおおむね満たしているものの、「基準Ⅲ教育資源と財的資源」の「テーマ D 財的資源」に問題が認められたため、その改善を条件として付した上で、改善状況の報告を求めることとした。

今回、令和元年 6 月 27 日付で当該短期大学から提出された改善報告書により、問題点が改善されていることを確認した。今後も経営改善計画を着実に実施し、財務体質の一層の改善を図ることを期待する。

2. 指摘事項とその改善状況

当該短期大学は、学校法人全体及び短期大学部門の事業活動収支において支出超過であり、余裕資金と比べて負債の多いことから、学生確保に努めるとともに教育研究の質の低下を伴わない支出削減等の経営改善計画を早急に策定し、学校法人全体でその具体的手法について徹底するよう指摘した。

その後、教学改革、学生募集対策、遊休資産処分・外部資金の獲得、人件費の抑制などの計画を立て、その経営改善計画の履行状況の報告があった。その結果、学校法人全体及び短期大学部門について、平成 30 年度においても経常収支で支出超過の状態が続いているが、支出超過額は着実に縮小している。経営改善計画に基づいて、遊休資産の売却、入学定員の充足、人件費の抑制並びに経費の削減に取り組み、学校法人と短期大学の財務体質改善について継続的に努力している。

以上のことから、経営改善計画が着実に実行されていると判断するが、今後ともその履行に努め、財務体質について一層の改善を図ることが期待される。なお、当該短期大学は令和 2 年度学生募集の停止を決定している。